

**函館市医療・介護連携推進協議会  
多職種連携研修作業部会 第9回会議**

日時：平成31年2月15日（金）19：00～

場所：函館市医師会病院 5階講堂

**【次 第】**

1 開 会

2 議 事

○報告事項

- (1) 平成30年度 多職種連携研修計画 実施報告
- (2) センターホームページ「コラム」の掲載について

○協議事項

- (1) 研修情報一元化と提供について
- (2) 平成31年度 多職種連携研修計画（案）について

3 その他

- (1) 次回の部会日程について

4 閉 会

**【配付資料】**

- 1 報告事項
- 2 協議事項
- 3 第4回函館市医療・介護連携多職種研修会 アンケート集計結果
- 4 ホームページ上で掲載した研修情報一覧（平成29年4月～平成30年3月）
- 5 ホームページ上で掲載した研修情報一覧（平成30年4月～平成31年2月）
- 6 研修情報一元化と提供に関する規定（案）
- 7 平成31年度 多職種連携研修計画（案）
- 8 多職種による意見交換会に関する調査
- 9 函館市医療・介護連携支援センター『出前講座』

**函館市医療・介護連携推進協議会 多職種連携研修作業部会**  
**第9回会議 出席者名簿**

※★…部会長および副部会長 ○…幹事

(敬称略)

分野	所属団体	氏名	勤務先等
	公益社団法人 函館市医師会	○佐藤 静	函館市医療・介護連携支援センター
	一般社団法人 函館歯科医師会	川村 曜補	カワムラ歯科クリニック
	一般社団法人 函館薬剤師会	★副部会長 水越 英通	(株)はこだて調剤薬局(昭和店)
	公益社団法人 北海道看護協会 道南南支部	中村 真奈美 ※欠席	社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院
	道南在宅ケア研究会	川口 篤也	医療法人道南勤労者医療協会 道南勤医協 函館稜北病院
	函館地域医療連携実務者協議会	船山 俊介	社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院 医療総合サービスセンター
	一般社団法人 北海道医療ソーシャルワーカー協会 南支部	岩坂 亜里砂	介護老人保健施設 ゆとりろ
	北海道柔道整復師会函館ブロック	山本 康文	山本整骨院
	函館鍼灸マッサージ師連絡協議会	益井 基	益井東洋治療院
介護	函館市居宅介護支援事業所連絡協議会	渡部 良仁 ※欠席	居宅介護支援事業所 アニー
	函館市地域包括支援センター連絡協議会	京谷 佳子	函館市地域包括支援センター ゆのかわ
	函館市訪問リハビリテーション連絡協議会	★部会長 寺田 昌弘	社会医療法人仁生会 西堀病院
	道南訪問看護ステーション連絡協議会	高畑 智子	訪問看護ステーション オハナ
	道南地区老人福祉施設協議会	齋藤 禎史	特別養護老人ホーム シンフォニー

## ○報告事項

## (1) 平成30年度 多職種連携研修計画 実施報告 (資料3)

## ア 医療関係者向け研修会

テーマ：介護保険の概要～退院を見据えた展開～

講師：函館市地域包括支援センターゆのかわ 保健係長 京谷 佳子 様

参加者：

平成30年5月24日（函館中央病院） 96名（院内58名，院外38名）

平成30年8月29日（市立函館病院） 47名（院内21名，院外26名）

平成31年2月21日（函館市医師会病院）

## イ 介護関係者向け研修会

テーマ：病院の機能と役割について知ろう！

講師：独立行政法人 国立病院機構 函館病院

相談支援室 医療ソーシャルワーカー 廣瀬 量平 様

参加者：

平成30年5月25日（居宅サービス事業所職員） 79名

平成30年8月23日（施設・居住系サービス事業所職員） 65名

平成31年2月19日（上記とサ付・有料事業所職員）

## ウ オープンカンファレンス

平成30年4月26日（国立病院） 147名（院内53名，院外94名）

平成30年6月19日（五稜郭病院） 126名（院内21名，院外105名）

平成30年8月31日（市立函館病院） 116名（院内31名，院外85名）

## エ 第4回函館市医療・介護連携多職種研修会

日時：平成30年10月20日（土） 14：00～17：00

場所：函館国際ホテル

テーマ：地域での看取りを知る～その現状とこれから～

参加者：306名（グループワーク参加者196名，聴講席参加者110名）

※懇親会参加者107名

## オ 『はこだて入退院支援連携ガイド』を活用した研修会（退院支援分科会主催）

日時：平成30年11月14日（水） 18：00～19：30

場所：函館市医師会病院 5階講堂

内容：グループワーク

「事例をもとにガイドを活用し適切な連携の在り方」を考える

参加者：40名

（ケアマネジャー・包括職員・訪問看護師・退院支援看護師・MSW等）

(2) センターホームページ「コラム」の掲載について

平成30年4月～

『専門職ができること～15職の紹介～』

平成31年4月～

『施設医・在宅医・病院医～それぞれの立場からの看取り～』

## ○協議事項

## (1) 研修情報一元化と提供について(資料4, 5, 6)

ア 研修情報の提供団体の拡大について

## (2) 平成31年度 多職種連携研修計画(案)について(資料7, 8, 9)

ア 医療・介護関係者向け研修会について

イ 意見交換会について

ウ 大規模研修会の内容に関して

エ 大規模研修会の参集方法に関して

①医師会, 看護協会, 在研, 函医連, MSW協会, 居宅連協, 包括連協, 訪リハ連協, 訪看連協, 老施協  
→各団体を通さずにセンターから, 各医療機関・介護保険事業所等の多職種に向けて案内文を配布し, 所属する機関等から参加申し込みをする。

②歯科医師会・薬剤師会・柔整・函鍼連  
→各団体を通して, 会員にむけて参集依頼する。

③その他(栄養士会, 理学療法士会, 作業療法士会, 言語聴覚士会)  
→所属する各医療機関・介護保険事業所等に配布している案内文から参加申し込みが可能である旨を各団体長から会員へ周知していただく。

オ 多職種連携の専門性の向上について

カ 人材育成に関して

## アンケート集計結果 分析

n = 231 (回収率 75.5%)

1. 所属機関をお聞かせください。

・病院	53	(22.9%)
・診療所	10	(4.3%)
・歯科診療所	8	(3.5%)
・薬局	12	(5.2%)
・地域包括支援センター	20	(8.7%)
・居宅介護支援事業所	31	(13.4%)
・介護保険事業所	34	(14.7%)
・その他	58	(25.1%)
・無回答	5	(2.2%)

2. 職種をお聞かせください。(複数回答可)

・医師	6	(2.5%)	・栄養士	7	(2.9%)
・歯科医師	9	(3.7%)	・柔道整復師	7	(2.9%)
・薬剤師	12	(5.0%)	・鍼灸師・マッサージ師	11	(4.6%)
・保健師	10	(4.1%)	・介護支援専門員	47	(19.5%)
・看護師	50	(20.7%)	・相談員	30	(12.4%)
・リハビリスタッフ	15	(6.2%)	・事務員	6	(2.5%)
・歯科衛生士	9	(3.7%)	・その他	22	(9.1%)

3. 開催日時(土曜日の午後)はいかがですか？

・良い	190	(82.3%)
・どちらともいえない	39	(16.9%)
・良くない	2	(0.9%)

【ご意見等】

- ・午前中勤務し、昼食時間や移動時間も含めて良いと思いました。
- ・ちょうど良いです。駐車場がなかったのが困りましたが、次から気をつけます。
- ・希望を言ったらキリがありません。
- ・時間をゆっくりと使える。
- ・駐車場の問題。(とめられない、有料パーキング利用)
- ・平日希望。
- ・先生方に参加していただき、ご意見をいただけるのであれば、この日程で致し方ありません。
- ・土曜日でも構わないが、ホテルでは宿泊が多かったりし、駐車場が少ないことがないように望みます。
- ・眠気がある。
- ・ゆっくり話せるから。夕方6時以降だと仕事後だと疲れている。
- ・もう少し時間に余裕がほしかったです。
- ・医療関係者の都合に合わせてと仕方がないと思う。
- ・土曜日の方が時間がある。
- ・日曜日より土曜日でよいと思います。

#### 4. 研修会を受講し、ご自身の理解は深まりましたか？

・深まった	220	(95.2%)
・どちらともいえない	7	(3.0%)
・あまり深まらなかった	2	(0.9%)
・無回答	2	(0.9%)

##### 【ご意見等】

- ・多職種での話し合いができ、良かった。
- ・多職種からの意見を聞くことができ、得ることは多かったと思いますが、時間が短すぎて話し合いや意見交換が十分に行えませんでした。
- ・オープンカンファレンスにも一度だけ参加したことがあるが、積極的に今後出席してみたいと思った。
- ・他施設、機関の状況がわかってよかった。
- ・グループワークの時間が短かった。
- ・多職種の方々の意見や経験を聞いてよかった。
- ・医師を含め様々な職種の方とお話することができました。
- ・看取りのチームに選ばれることに感謝して支援をしたいと思いました。
- ・実際に訪問診療されている先生のお話を聞かせていただき、勉強になりました。
- ・医師の方々のお話に心がとてもほっこりとし、看取りについて再度考える時間になりました。
- ・多職種の方と意見交換でき、「その立場」の考え方、とらえ方を理解が少しでき、良かったです。
- ・ターミナルケアにおける医療・介護連携の不可欠さ、重要性を再認識しました。
- ・グループメンバーの日頃の取り組みを聞いたこと、意見交換会で先生方の考えを伺え、とても参考になった。
- ・深まる一方で、多職種の方々とチームで動くことに難しさも感じました。
- ・他職種でグループワークすることで、それぞれの立場で考えることの大切さを改めて感じました。
- ・看取りに関わる医師のお話が聞いたのはとても良かった。
- ・いつをもって看取り期と決めるのですか。誰が決めるのですか。
- ・「看取り」に関してはよくわからないことが多かったのですが、今回の研修会である程度理解できました。(もちろんまだまだわからないことはあります)
- ・業務上看取り患者をみることはないが、多職種の方々と知り合い、連携を取ることで柔整師としても介入できることがあると思えた。
- ・看取りの難しさをさらに感じましたが、多職種の皆さんと話し合えたことがとても良かったです。
- ・先生の話の直接聞くことができ、とても勉強になりました。
- ・老健施設での看取りについてを確認できた。イメージは、在宅へ戻ることのイメージを強く依頼していなかった。しかし、特養の役割になり、施設との区別がなくなるのか？
- ・今までは病院で看取っていた方を在宅で看取ることができたら良いと思う。
- ・シンポジストのご講演、とても良かったです。座長の川口先生のお話、司会も勉強になりました。グループワークの意見も参考になりました。

## 5. 今回のような介護関係者向けの研修会を続けてほしいですか？

・続けてほしい	224	(97.0%)
・どちらともいえない	5	(2.2%)
・続けなくてもよい	1	(0.4%)
・無回答	1	(0.4%)

### 【ご意見等】

- ・ 1年に1回程度。
- ・ これだけの規模で多職種が集まる機会があまりないので続けてほしい。
- ・ 医師とは話しにくいので、このような機会は大変ありがたいです。
- ・ とても勉強になりました。
- ・ 多職種研修, 大好物です。グループワーク, 大好物です。
- ・ 他の職種を理解でき, 連携を行っている事例等, 聞けてよかったです。
- ・ 医師の話を書くことがないので, 聞ける場があって良かった。
- ・ 多職種と出会える貴重な場です。
- ・ 小・中規模研修会もよいですが, 今回のような大規模も, 実は内容が濃く, とても勉強になりました。
- ・ 今後も続けてほしい。

## 6. 今後, どのような内容の研修会を希望されますか？

### 【具体的な内容等】

※別紙をご覧ください。

## 7. その他, ご意見

※別紙をご覧ください。



## 6. 今後、どのような内容の研修会を希望されますか。

- ・ 医療⇄介護のやりとりで問題、トラブルが起きるケースについて。
- ・ 医師以外の職種でもこのような研修があると良いと思いました。
- ・ ACPの研修会。
- ・ 函館市全体で問題視されていること。高齢化、認知症、在宅医療、介護力不足など。今回の看取りについても、もっと話し合う時間をつくっていただき、再度開催していただくこともありがたいと思います。
- ・ グリーフケアについて。
- ・ 顔が見えなくてもスムーズな連携がとれるシステムに関する研修会。
- ・ 情報共有と個人情報の扱い方。
- ・ 薬剤師として医療現場で他職種の方と触れ合う機会がないので、今後色々な研修に参加してみたいです。
- ・ シンポジストに多職種を招いてほしい。
- ・ このように顔の見える会がいいと思う。つながりが大事だと思う。
- ・ シンポジストに質問できる形式、すごく良いと思います。
- ・ グループワーク不要。
- ・ 事例検討会。
- ・ 多職種のグループワークはいつも参加していますが、他の職種の方の話が聞けるので続けてほしいです。
- ・ 事例検討会。
- ・ 福祉職員のストレスについて。
- ・ 医療との連携について、引き続きお願いいたします。
- ・ 地域での看取りケアをもっと深く勉強したいです。どのように、事例等を通して。
- ・ 看取りの事例、他職種の役割。
- ・ 看取りについて、やはり介護員の不安や重さをどのようにしていきたいか、また、どのようにすることが良いのかと思っています。
- ・ 多職種それぞれが理解が深まるような研修。(連携を行っている事例等)
- ・ 精神疾患、クレーム対応。
- ・ グループワークが時間がなく、まとめづらさがもったいなく感じました。なかなか多職種の方からの意思や思いを聞けることがないので、もう少し進めやすい方法でやっていただけたらと思いました。
- ・ クレーム対応。自分の身内(入所者)をなんでも一番に介護してほしい。(待たせない、ナースコールにすぐ出る、言ったことをすぐにやってほしい、気に入らない介護士の配置転換要求など)
- ・ 引き続き、「看取り」・「在宅医療」お願いします。
- ・ 今回のような多職種の方と意見交換できる場がありがたいです。
- ・ 職種別にテーブルを囲んでみるテーブルをつくってみてもいいかも。
- ・ DNRについて。
- ・ 難病の在宅支援。
- ・ 地域別などの小さなグループでの研修会があればと思いました。
- ・ より小規模での事例紹介もあるグループワーク中心で、特に看取りケア(プラン)についての会を望みます。
- ・ 医療(病院Dr)が参加する機会。指示を出すのは医師であるので、偉い偉くないに関わらず、制度で決まっている指示書を迅速に対応していただくために。
- ・ 同じターミナルでも退院時の多職種連携の視点でも考える研修がいいです。(カンファレンスの注意点、進行等)
- ・ 救急搬送に関わる介護施設と医療との連携に関する内容。
- ・ キーパーソン不在の在宅ケア、施設ケアの実情。(高齢夫婦、他親族なく、介護者も要介護者のケースなど)

- ・ 障がい者施設の方のお話や、小児病棟のスタッフのお話など、自分と関わりの少ない医療(介護)のお話も聞いてみたい。
- ・ 多職種連携という視点から見て、それぞれの理解がさらに深まる内容であればいいなと思います。

## 7. その他, ご意見等

- ・ 看取りに対して多職種で関わっていくことによる大切さが再認識できて良かったです。ありがとうございました。
- ・ 今までの研修の中で一番よかったと思います。Drの思いを聞いたことが一番良かったです。
- ・ 介護福祉士が参加できる研修会を企画してほしいと思います。
- ・ 開場の室温が寒く感じました。室温に応じた温度調整をお願いしたいです。とにかく時間が短かったので、もっと有意義に充実した話し合いや意見交換ができればと思います。
- ・ 他の施設の方とお話できて良かったです。
- ・ もう少しグループからの発表が聞けるようにしてほしい。
- ・ 様々な職種, 院所の方々と顔を合わせ意見を共有することは大事だと改めて感じた。
- ・ 「看取り」に対して, 病院全体の意識を変えていくために努力していかなければと感じた。
- ・ 質問できなかったこともあると思うので, グループワーク②の質問で返答されていないものをどこかで知りたい。
- ・ 多職種に関わる研修会として, 多種多様な職種が多く参加することができることは, とても有意義に感じます。ありがとうございます。
- ・ とても良い時間を過ごせました。ありがとうございます。
- ・ グループワークの流れがプリントで配布されていれば助かります。
- ・ これから医療ケアの多い方の在宅支援を行う予定です。本日のシンポジウムやグループワークで学んだことを参考にさせていただきたいと思います。ありがとうございました。
- ・ グループワークの時間がもう少しあると良いかと思いました。
- ・ 今回初めて参加させていただきました。こんなに沢山のの方々, 多職の方々が, より良い連携を考えているのだとわかり, 自分も頑張りたいと思いました。次回も参加させていただきたいと思います。
- ・ ICT。
- ・ 素晴らしい研修会だと思います。今後も続けてほしいです。もう少し若い方の参加も望みます。
- ・ こういった多職種での研修会の回数をもっと増やしてほしい。今回初参加でしたが, とても良い経験をさせていただきました。
- ・ 普段は接することのない内容なので, ためになりました。
- ・ 看取りについては経験がないので, 大変勉強になりました。
- ・ 医療・介護に関わる全職種の参加を希望します。
- ・ グループワークの時間がもう少し長い方がありがたいです。
- ・ 今後も続けてもらいたいです。準備等お疲れさまでした。
- ・ 看取りについても多職種の連携の大切さを実感することができた。とても勉強になりました。
- ・ 普段聞けないことを聞くことができました。ありがとうございます。
- ・ いつも同じ顔ぶれでマンネリを感じます。
- ・ Dr, Nsと関わりが以前よりスムーズになった気がします。準備等お疲れさまでした。とても良い内容でした。ありがとうございます。
- ・ 前段の各Drの話がもう少し長くてもよかった。かけ足の説明だったので。
- ・ グループに様々な職種の方がいて, 活発に意見をかわすことができた。とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ とても良い内容でしたが, 医師だけでなく, NsやCMなど他の職種のシンポジストもいたら, もっと理解が深まるのではと感じました。
- ・ 看取りに限らず, 在宅医療, 在宅介護を支える体制や心意気は札幌などよりもしっかりしていると聞きます。これを持続させていけるようであってほしいと切に希望します。
- ・ グループワークの進行の説明がよくわからなかったが, 水越さんにアドバイスいただきながら, グループメンバーにも助けられ, なんとかできました。シンポジストの先生方の話も聞けて大変良い研修でした。
- ・ Drの話の聞ける機会があまりなく, 参考になりました。
- ・ 看取り事例を通して, 多職種の役割について共有したかった。

- ・ 老松先生のお話の中で紹介された看取りの利用者様について、年齢がお若く、ご自分の意思、ご家族の意向を大事にしてもらってよかったなと思いました。
- ・ この会に参加する方たちは連携の大切さ等わかっていらっしゃると思いますが、なかなか連携のとりにくいDrもいらっしゃる、セカンドオピニオンが難しいこともあります。主治医からの情報が無くとも、セカンドオピニオンができるようになるとういと思います。(以前に比べ、連携がとりやすくなってきていることを感じます)
- ・ 経験が少ないので大変勉強になりました。先生方の熱意が感じられました。
- ・ ありがとうございます。
- ・ 介護職は医療への苦手意識がなくなるように努力するべきだと思います。医療職は介護(生活)の場を知ることが必要だと思います。
- ・ グループワークの進め方がわかりにくいと感じました。
- ・ 会場に来たときには、医師、歯科医師も参加しており、一瞬「場違いなところに来てしまった」と思いましたが、話を聞くことができ、勉強になり、また、楽しい時間でした。ありがとうございます。
- ・ グループワークの時間を長くしてほしい。
- ・ 今日話を聞いた医師が担当の医師だと、互いに良い連携が組めるのになと思いました。
- ・ 看取りに関わる機会がなかったからこそ聞けなかった部分について、お話やご意見(多職種の)を聞くことができ勉強になった。
- ・ 歯科と看取り、今まで縁のない分野であったが、最期に食べることに関われる職種であることを確認できました。死は特別なことではないこと。
- ・ 歯科衛生士による口腔ケアが、本人や家族の気持ち、部屋のおいも変化させるというお話を聞かせていただき、歯科の看取りへの関わりを改めて認識しました。
- ・ 付箋小さめ。少し読みづらかったです。貴重なお話ありがとうございます。
- ・ 相当早く来たのですが、駐車場にとめられませんでした。
- ・ 多職種の皆さんとの話し合いはとても勉強になります。また参加したいです。
- ・ いつもお忙しい中、本当にありがとうございました。
- ・ ホームページってあるのか？あったらいいと思う。
- ・ 会場の温度が高い。(密度が高いせいかな)
- ・ 意見を考え、発表するグループワークの時間が短く、バタバタとなった。
- ・ 今までリハビリで看取りまで関わった経験がなく、知らないことが多く、今回の研修会で少し理解ができました。「患者と家族のコミュニケーションを深める」という点は、今関わっている方でもお手伝いできることなので、行いたいと思います。
- ・ 第1回から参加させていただいてますが、やはりこの研修の魅力は、普段の業務で関わりが少ない職種とも交流が深められ、様々な意見を聞いて視野を広められる所にあると思います。今回は聴講席での参加となりましたが、参加にあたってはできる限りグループワークもあつての参加がみなさんにあると良いかと感じております。
- ・ 栄養士としてできることをやっていきたいです。
- ・ 医師の参加が増えてきていることがすばらしいと思います。
- ・ 最初からグループワークに参加できれば良かったなと思いました。途中からだ入りにくいなと思います。
- ・ 人数が多く、参加者を制限したらどうでしょう？駐車場確保できず大変でした。地域等で2回に分けて行うこともどうでしょうか？医療関係者も大変でしょうが宜しくお願いします。
- ・ 参加者や座席表の配布、名前と顔が一致できるので話しやすい。
- ・ ためになるお話を聞くことができ、とても良い機会をいただきました。ありがとうございました。
- ・ 看取りのとき、家族はどういうことを言ったか、スタッフはどういう声掛けと対処をしたか、ご本人は死が近づいたときどういうことを言ったか、希望は言ったのか、もっと詳しい事例を聞きたかった。
- ・ 多職種で高齢者社会を支えていく必要がある。今後の仕事につなげていきたい。
- ・ 普段ターミナルケアに関わっているDrから直接お話を聞いて大変参考になりました。自身も在宅ケアマ

ネ時に医療機関とどうすれば上手くコミュニケーションがとれるかを課題にしていたので、今日の話聞いて少し勇気が出ました。

- ・ 今日は大変参考になりました。今後もよろしくお願いします。
- ・ 看取りケアについて大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 私は看取りの経験はありませんが、今回の研修会は勉強になり、また、大変考えさせられました。
- ・ 私は訪問治療を行っていませんので、今回は傍聴という立場で、初めて参加させていただきました。人として最期を迎える方のお気持ちに寄り添うことができるのかわかりませんが、そのような経験をされている方のお話は、心に響くものでした。
- ・ 病院、施設と様々な看取りの話聞いて良かったです。
- ・ 「看取り」できる環境を少しずつでも拡大していきましょう！
- ・ 在宅での看取りについて、電動ベッドやエアマットの必要性が高いと思われませんが、医療と介護の連携という観点から、福祉用具についてまったく触れられていなかったのが残念です。
- ・ ディスカッション、楽しかったです。

## ホームページ上で掲載した研修情報一覧（平成29年4月～平成30年3月）

月	研修名称（団体名）	件数（件）
5月	第4回定例講習会兼在宅部会認定講習会 『医療の基本 接遇の重要性』  (函館鍼灸マッサージ師連携会)	2
	平成29年度総会記念研修会 『退院から在宅支援について』  (函館市居宅介護支援事業所連絡協議会)	
6月	平成29年度 第2回函館市難病医療講演会 『パーキンソン病ー病気のことをよく知って、上手に付き合しましょう』  (市立函館保健所 保健予防課 感染症・難病担当)	2
	第43回定例会 『在宅での低栄養対策』  (道南在宅ケア研究会)	
7月	第6回定例会 『各施設におけるがん性疼痛マネジメントの取り組み ～医療用麻薬注射剤の使用について困っていませんか?～』  (南渡島地域包括緩和ケアネットワーク)	1
8月	機能訓練指導員認定柔道整復師フォローアップ講習会 『函館市医療介護連携支援センターについて』 『地域包括支援センターについて』  (北海道柔道整復師会)	5
	北海道柔道整復師会函館ブロック学術講演会 『新しい運動生理学 ースポーツケアを中心にー』  (北海道柔道整復師会)	
	平成29年度 第1回実践講座 『災害とソーシャルワーク援助』  (北海道医療ソーシャルワーカー協会)	
	平成29年度 第1回 ケアプラン研修 『利用者理解を深めるために～利用者の話、本当に聴けていますか?～』  (函館市地域包括支援センター)	
	平成29年度難病患者在宅療養支援学習会 『精神疾患のある強皮症患者への在宅療養支援について』  (市立函館保健所 保健予防課)	
9月	平成29年度MOPN市民公開シンポジウム 『がん患者を支える私たちの役割』～ 地域で出来る支援の輪 ～ 第2弾』  (道南在宅ケア研究会)	2
10月	道南訪問看護ステーション連絡協議会 研修会 『私たちの知りたい漢方』 『繋がろう看護と看護』  (道南訪問看護ステーション連絡協議会)	4
	第6回定例講習会 『痛みの診方 ～最先端の痛み研究からわかったこと～』  (函館鍼灸マッサージ師連携会)	
	平成29年度 第2回 ケアプラン研修 『動き始めた地域包括ケア～キーパーソンとしての介護支援専門員』  (函館市地域包括支援センター)	
	平成29年度 第2回 函館市東央部第2圏域地域ケア会議  (函館市地域包括支援センターたかおか)	
11月	第45回定例会 『慢性心不全患者を支えるために医療者が出来ること』  (道南在宅ケア研究会)	2
	函館動脈硬化懇談会 第44回脳卒中フォーラム 『「地域で診る脳卒中」～診断と治療からICFとFIMを用いた地域連携まで～』  (函館市医師会)	
合計		18件
(その他) 函館市医療・介護連携支援センター 主催・共催研修会		8件

## ホームページ上で掲載した研修情報一覧（平成30年4月～平成31年2月）

月	研修名称（団体名）	件数（件）
4月	第46回定例会 『在宅・施設で予期せぬ死亡（急変）時にどう対応するか』 （道南在宅ケア研究会）	1
5月	『特定健康診査の効果について～10年間の成果と今後の展望～』 （函館市 市民部国保年金課）	2
	平成30年度 函館市難病医療講演会 『シェーグレン症候群について』 （市立函館保健所 保健予防課）	
6月	『安全運転講座』 （函館市 保健福祉部高齢福祉課）	1
7月	平成30年度 MOPN市民公開講座 『人生の最終段階について考える～備えあれば憂いなし』 （道南在宅ケア研究会）	1
8月	第51回 道南地区老人福祉施設職員研究大会 『～未来ある施設に向けての原点回帰～』 （道南地区老人福祉施設協議会）	2
	平成30年度 第1回 ケアプラン研修 『地域包括ケアシステムとケアマネジャーの役割について～法的根拠から学ぶ』 『動き始めた地域包括ケアシステム第2弾！ 求む、意識改革！ どうしたい？ 函館の地域づくり』 （函館市地域包括支援センター）	
9月	平成30年度 合同研修会 『お互いを知ってより良い関係を！ ケアマネと訪問リハの専門性とは？ 第2弾』 （函館市居宅介護支援事業所連絡協議会・ 函館市訪問リハビリテーション連絡協議会）	2
	平成30年度 難病患者 在宅療養支援学習会 『多発性硬化症患者への在宅療養支援について』 （市立函館保健所 保健予防課）	
10月	平成30年度 第2回 ケアプラン研修 『人口減少社会における介護現場でのケアマネジャーに求められるスキル』 （函館市地域包括支援センター）	2
	第48回定例会 『希望を叶えるアプローチ』 （道南在宅ケア研究会）	
12月	平成30年度 道南地区老施協 施設長研修会、定期総会、懇親会 『介護の現状と未来 ～いますぐにアプローチが必要な課題とは』 （道南地区老人福祉施設協議会）	1
1月	平成30年度 地域リハビリテーション活動支援事業研修会 『セラピストが地域で何を？（地域で活動するとは）』 （函館市保健福祉部 高齢福祉課）	1
合計		13件
（その他） 函館市医療・介護連携支援センター 主催・共催研修会		11件

## 【 研修情報一元化と提供に関する規定 】

### (案)

函館市医療・介護連携支援センターでは、医療・介護関連の研修会を実施しているさまざまな機関や団体の研修情報を一元的に集約し、函館市内の医療・介護関係者が必要な研修情報を入手できるようホームページ上で公開しております。

#### 《目的》

- 研修会の周知と参集のため。
- 他機関や団体が企画する研修会の開催日時や内容等が重複しないため。

#### 《掲載の条件》

- 函館市内の医療・介護関係者が所属している機関・団体等が主催または共催の研修会であること。
- 函館市内の医療・介護関係者が対象となる研修会であること。
- 公益性があり、営利目的ではない研修会であること。
- 函館市医療・介護連携推進協議会に参加している団体からの推薦がある研修会であること。



【平成31年度 多職種連携研修計画】（案）

資料7

目的（テーマ）	内容	形式				定員	時期
		規模（会場）	形態	対象者	レベル		
（1）相互理解の促進	① 医療関係者向け研修 『介護サービスについて』 講師：未定	中規模	座学講義	医療関係者	初級～中級	100名程度	5月 8月 2月
	② 介護関係者向け研修 『高齢者の医療機関への受診について』 講師：未定	中規模 （テレシアター）	座学講義	介護関係者	初級～中級	100名程度	5月 8月 2月
	③ オープンカンファレンス 『多職種による症例の振り返りと共有』	中規模	対話体験（事例報告）	医療・介護関係者	初級～上級	100名程度	随時
	④ 意見交換会 ※各団体への調査実施（資料8）	未定	未定	未定	未定	未定	未定
（2）連携強化	⑤ 看取り 1）大規模研修会 『それぞれの場所での多職種による看取りの実際』 2）施設看取りへの支援 『施設等での看取りケアの好取組事例報告』	大規模 （国際ホテル） 中規模 （テレシアター）	対話体験（シンポジウム・GW） 座学講義	混合 介護関係者	中級～上級 中級～上級	300名以上 100名程度	11月30日 9月予定
	⑥ 入退院支援 「はこだて入退院支援連携ガイド」活用促進 「はこだて医療・介護連携サマリー」活用促進 ※各団体・各機関との共催 ※退院支援分科会・情報共有ツール作業部会との協働	小規模	対話体験（事例検討・GW）	実務者	中級～上級	30名程度	未定
	⑦ 急変時対応 『高齢者の急変から病院受診（救急搬送）の事例報告』	中規模	対話体験（シンポジウム）	医療・介護関係者	中級～上級	100名程度	3月予定
（3）多職種連携の 専門性の向上	⑧ 函館市における多職種連携への理解の促進 ※各団体・各機関との共催 ※出前講座メニュー（資料9）	小規模	座学講義 講師：センター職員	医療・介護関係者	初級～中級	30名程度	随時
（4）人材育成	⑨ センター主催研修会への見学参加 ※各医療・介護系の学校への案内	随時	見学・座学講義	医療・介護学生 （教員）	未経験者	数名	随時

## 多職種による意見交換会に関する調査

団体名【  】

担当者名【  】

①貴団体主催または共催で、他団体や他職種とのグループワーク等を含めた意見交換会を実施されたことはありますか？

ある (→②へ)                      ない (→③へ)

②ある場合は、いつ頃どここの団体とどのような内容（テーマ）で実施されましたか？

	いつ	どここの団体と	どのようなテーマで
例	H30. 1	薬剤師会	各職種紹介, 認知症患者に対する対応や残薬について
1			
2			
3			
4			
5			

③ない場合、今後貴団体主催または共催で実施したいと考えていますか？

はい                      いいえ

④他団体や他職種との意見交換会の実施についてセンターに希望することはありますか？

ある (→⑤へ)                      ない

⑤ある場合、具体的にお知らせください。

例) 各団体や各職種の窓口となる担当者を教えてほしい。  
 どのように意見交換会を実施したらよいかわからないので教えてほしい。

# 函館市医療・介護連携支援センター 『出前講座』

函館市医療・介護連携支援センターでは、医療・介護に携わる専門職の皆様を対象とする出前講座を行っております。

出前講座の内容につきましては、下記をご覧ください。

No.	テーマ	内 容	時 間
①	函館市医療・介護連携支援センターについて	当センターの役割等	30分
②	在宅医療について	在宅医療を受けるために・料金のこと等	30～60分
③	在宅介護について	在宅介護を受けるために・サービスの内容等	30～60分
④	はこだて医療・介護連携サマリーについて	『はこだて医療・介護連携サマリー』の説明・使い方等	30～60分
⑤	はこだて入退院支援連携ガイドについて	『はこだて入退院支援連携ガイド』の説明・使い方等	30～60分
⑥	施設等における高齢者の急変時対応について	施設等における急変時対応のポイント・『急変時対応シート』の説明と使い方等	30～60分

## 【お申し込み方法】

当センターへお電話にてお申し込みください。

開催日時のご相談やご質問など、お気軽にご連絡ください。

## 【お問い合わせ】

函館市医療・介護連携支援センター

〒041-8522

函館市富岡町2丁目10-10 函館市医師会病院内

TEL (0138) 43-3939

FAX (0138) 43-1199

